

令和 6 年

火災・救急・救助の概要

高砂市消防本部

目 次

【火災】

1 火災の概要	1
(1) 出火原因	1
(2) 死者及び負傷者	1
(3) 建物焼損棟数及びり災世帯数	1
(4) 損害額	1
2 火災発生状況（前年との比較）	2
3 年別火災件数、損害額及び火災種別	3
(1) 年別火災件数及び損害額	3
(2) 年別火災種別件数	3
4 月別火災発生状況	4
5 時間別火災発生状況	5
6 曜日別火災発生状況	5
7 地区別火災発生状況	6
8 火災覚知別状況	6
9 出火原因及び損害額	7
10 初期消火状況	7
(1) 初期消火実施状況	7
(2) 初期消火器具使用状況	8

【救急】

1 救急の概要	9
(1) 事故種別	10
(2) 傷病程度別搬送人員	10
2 救急出動状況（前年との比較）	11
3 月別出動件数	12
4 時間別出動件数	13
5 曜日別出動件数	13
6 地区別出動件数	14
7 急病にかかる疾病分類別搬送人員状況	14
8 現場到着所要時間別出動件数	15
9 病院収容所要時間別搬送人員状況	15

10 年齢区分別傷病程度別搬送人員状況	16
11 発生場所別搬送人員状況	16
12 応急処置実施件数	17

【救助】

1 救助の概要	18
2 救助出動状況（前年との比較）	19
3 月別出動件数	20
4 地区別出動件数	20
5 救助種別及び傷病程度別出動件数	21
6 救助種別及び発生場所別出動件数	21

【火災】

1 火災の概要

令和 6 年中に高砂市内で発生した火災は 27 件（前年比 6 件増）で、1 日あたりに換算すると、約 14 日に 1 件の割合で火災が発生したことになります。また、出火率（人口 1 万人あたりの火災件数）は 3.1 件となり、前年から 0.7 件の増加となりました。

火災種別でみると、建物火災が 17 件（前年比 1 件増）で、全体の 63%を占め、その他の火災が 10 件（前年比 5 件増）となっています。

建物火災では、住宅関係の火災が 8 件（前年比±0）で、建物火災全体の 47.1%（前年比 3%減）を占めています。

(1) 出火原因

火災件数 27 件の出火原因は、放火（疑い含む）が 6 件、たばこが 3 件、こんろが 3 件、ストーブが 3 件、電気機器が 2 件、電気装置が 1 件、ボイラーが 1 件、火入れが 1 件、焼却炉が 1 件、その他が 6 件となっています。

(2) 死者及び負傷者

火災による死者は 1 人（前年比±0）、負傷者は 2 人（前年比 3 人減）となっています。

(3) 建物焼損棟数及びり災世帯数

建物焼損棟数は 21 棟で、内訳は全焼 3 棟、半焼 1 棟、部分焼 4 棟、ぼや 13 棟となっています。

り災世帯は 11 世帯で、り災人員は 26 人となっています。

(4) 損害額

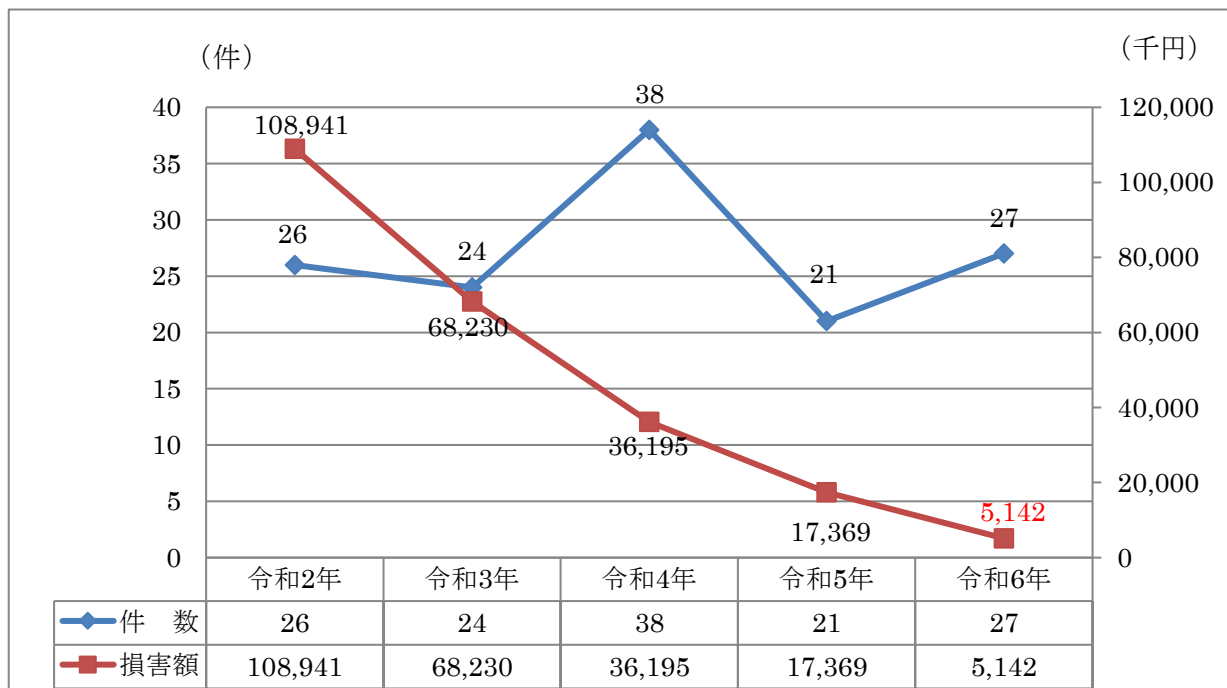
建物火災の損害額は 5,043 千円（前年比 12,311 千円減）で、建物火災 1 件あたりの損害額は約 297 千円となっています。

2 火災発生状況(前年との比較)

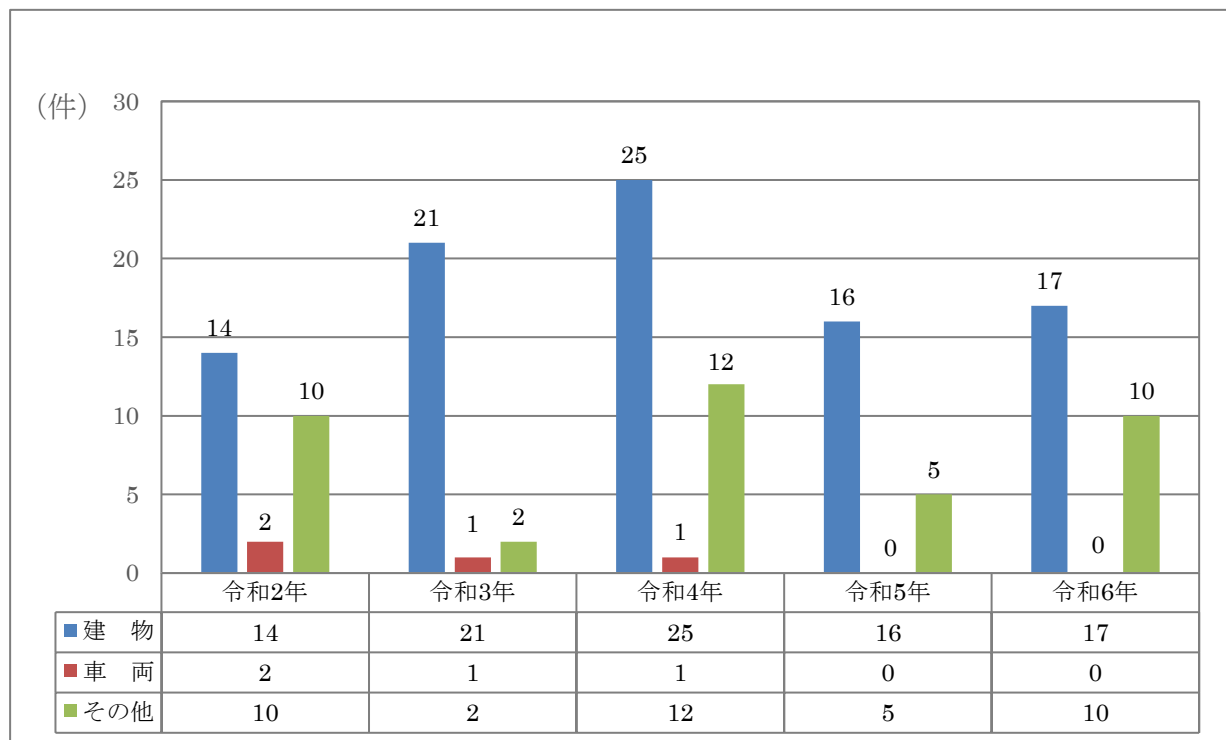
区 分 \ 年 別		令和 5 年	令和 6 年	増 減 (△は減少)
火 災 件 数	建 物 火 災	16	17	1
	林 野 火 災			
	車 両 火 災			
	船 舶 火 災			
	航 空 機 火 災			
	そ の 他 の 火 災	5	10	5
	合 計	21	27	6
損 害 額 (千 円)	建 物	17,354	5,043	△12,311
	林 野			
	車 両			
	船 舶			
	航 空 機			
	そ の 他	15	99	84
	合 計	17,369	5,142	△12,227
焼 損 面 積	床 面 積 (㎡)	252	273	21
	表 面 積 (㎡)	24	40	16
	林 野 (a)			
焼 損 車 両 台 数				
焼 損 棟 数	全 焼	4	3	△1
	半 焼		1	1
	部 分 焼	5	4	△1
	ぼ や	10	13	3
	合 計	19	21	2
り 災 世 帯 数		8	11	3
り 災 人 員		19	26	7
死 者		1	1	0
負 傷 者		5	2	△3

3 年別火災件数、損害額及び火災種別

(1) 年別火災件数及び損害額



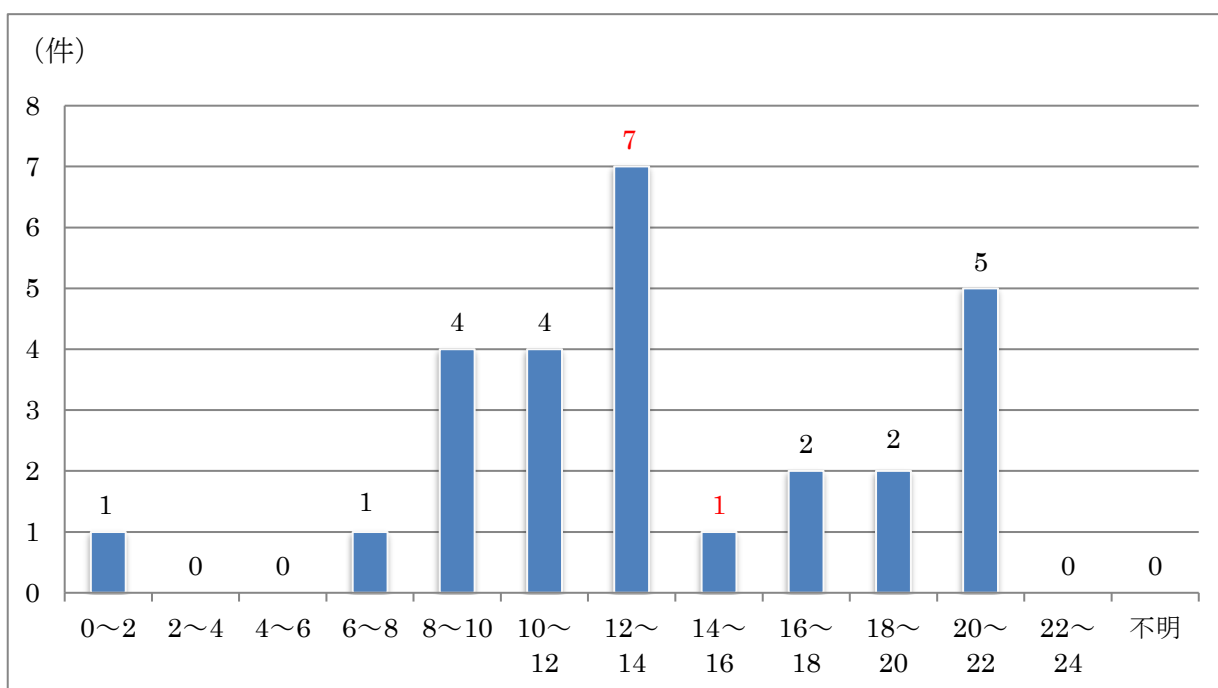
(2) 年別火災種別件数



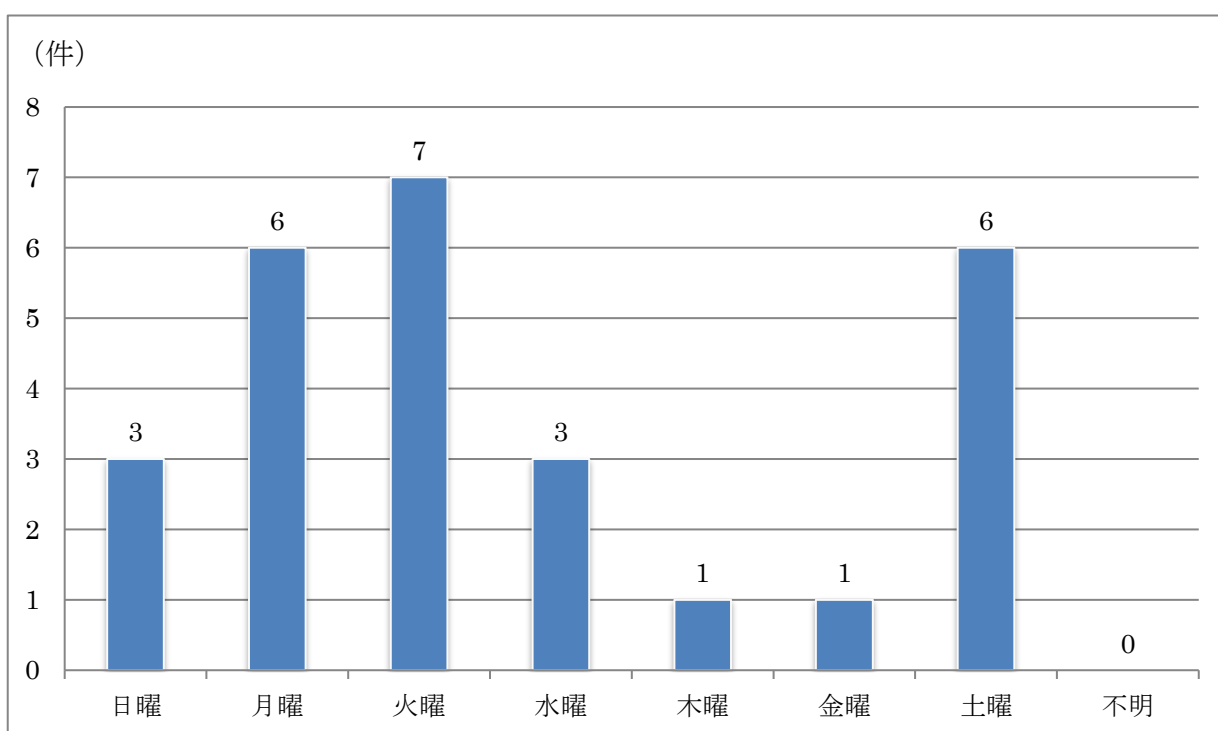
4 月別火災発生状況

月 別 区 分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
火 災 件 数	建 物		4	2	1	1		2	3		2	1	1	17
	林 野													
	車 両													
	船 舶													
	航空機													
	その他		1	2	1			1	3	1			1	10
	合 計		5	4	2	1		3	6	1	2	1	2	27
損 害 額 (千 円)	建 物		2,828	1,081	35	10		119	896		18	53	3	5043
	林 野													
	車 両													
	船 舶													
	航空機													
	その他		30					25	5				39	99
	合 計		2,858	1,081	35	10		144	901		18	53	42	5142
焼 損 面 積	床 面 積 (m ²)		81	171	13				8					273
	表 面 積 (m ²)		16			1			23					40
	林 野 (a)													
焼損車両台数														
焼 損 棟 数	全 焼		1	1					1					3
	半 焼				1									1
	部分焼		3						1					4
	ぼ や		2	1		1		2	3		2	1	1	13
	合 計		6	2	1	1		2	5		2	1	1	21
り災世帯数			6	2		1			1		1			11
り災人員			12	4		4			3		3			26
死 者			1											1
負 傷 者			1	1										2

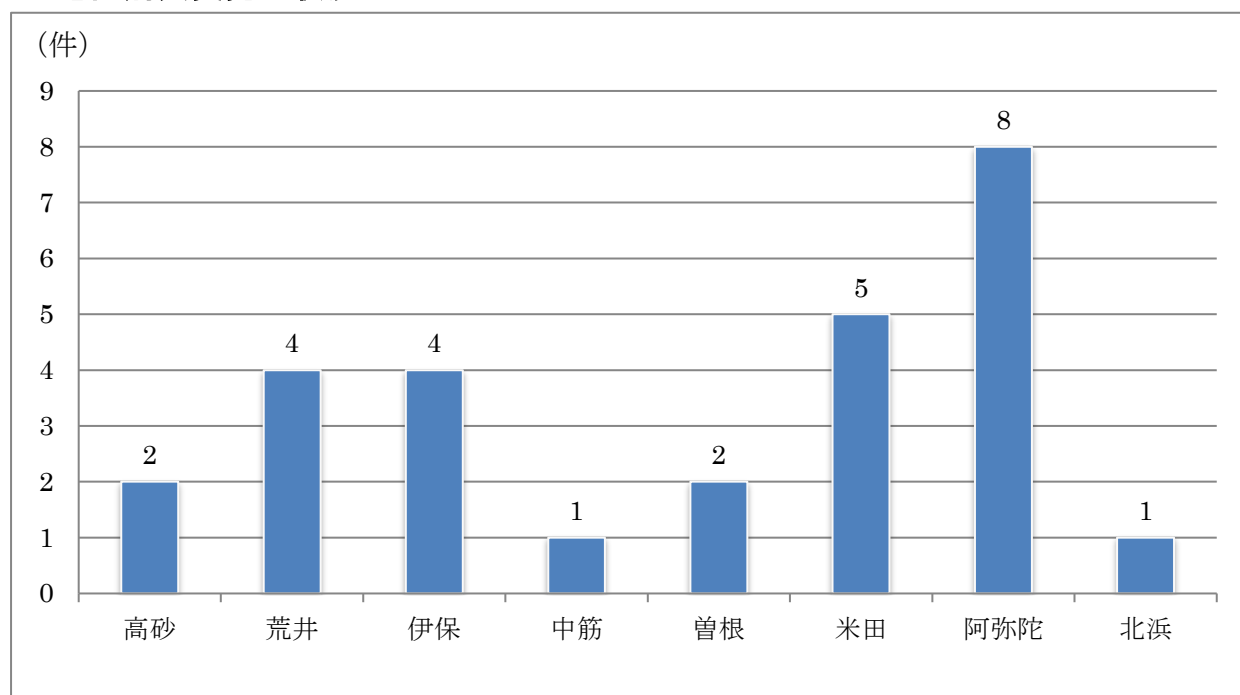
5 時間別火災発生状況



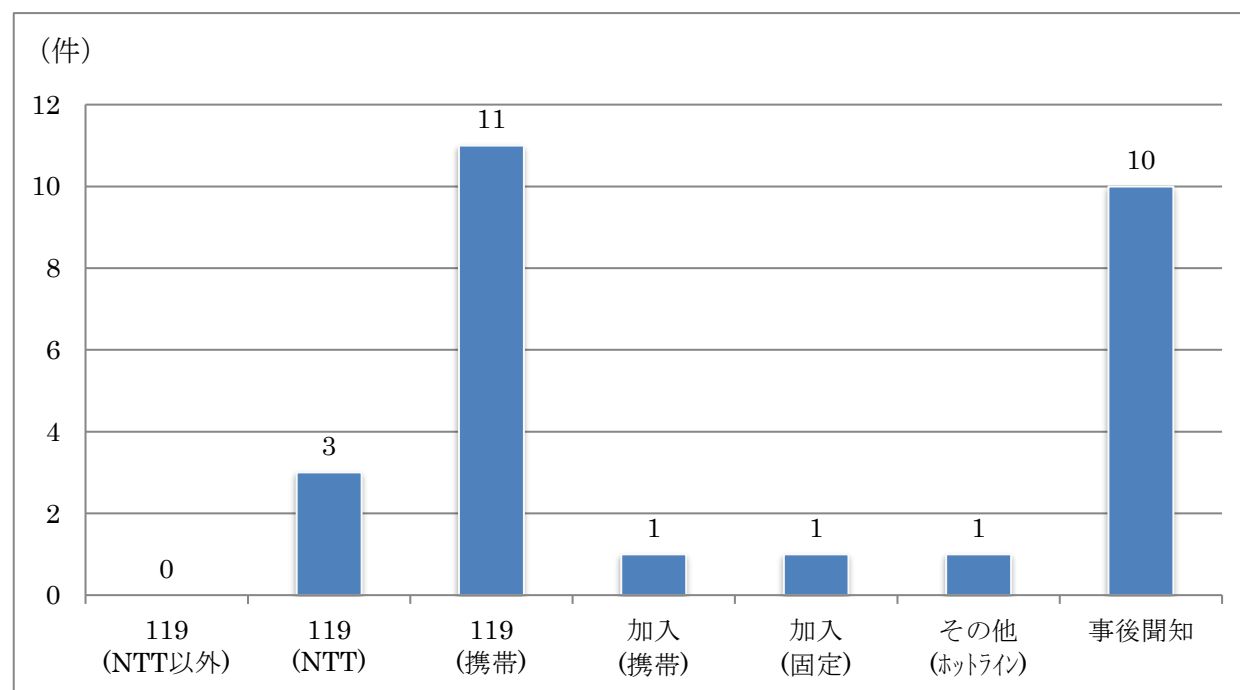
6 曜日別火災発生状況



7 地区別火災発生状況



8 火災覚知別状況



9 出火原因及び損害額

月別 原因別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	損害額 (千円)
火 災 件 数		5	4	2	1		3	6	1	2	1	2	27	5,142
放火(疑い含む)			2	1				3					6	1,452
た ば こ		1		1					1				3	30
こ ん ろ		2					1						3	42
焼 却 炉												1	1	3
ス ト ー ブ		2	1										3	2,788
電気機器・装置							1	1			1		3	83
ボ イ ラ ー										1			1	18
火 入 れ								1					1	0
そ の 他			1		1		1	1		1		1	6	726
不明・調査中														

10 初期消火状況

(1) 初期消火実施状況

種 別 実施状況	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
火 災 件 数	17					10	27
初期消火実施状況 (初期消火のみで鎮火)	13 (11)					7 (5)	20 (16)
初 期 消 火 な し	4					3	7

(2) 初期消火器具使用状況

種 別 初期消火種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
初 期 消 火 実 施 件 数	13					7	20
水道、浴槽、汲み置き 等 の 水 を か け た	7					4	11
粉 末 消 火 器	4					2	6
寝具、衣類等をかけた	2						2
も み 消 し た						1	1

【救急】

1 救急の概要

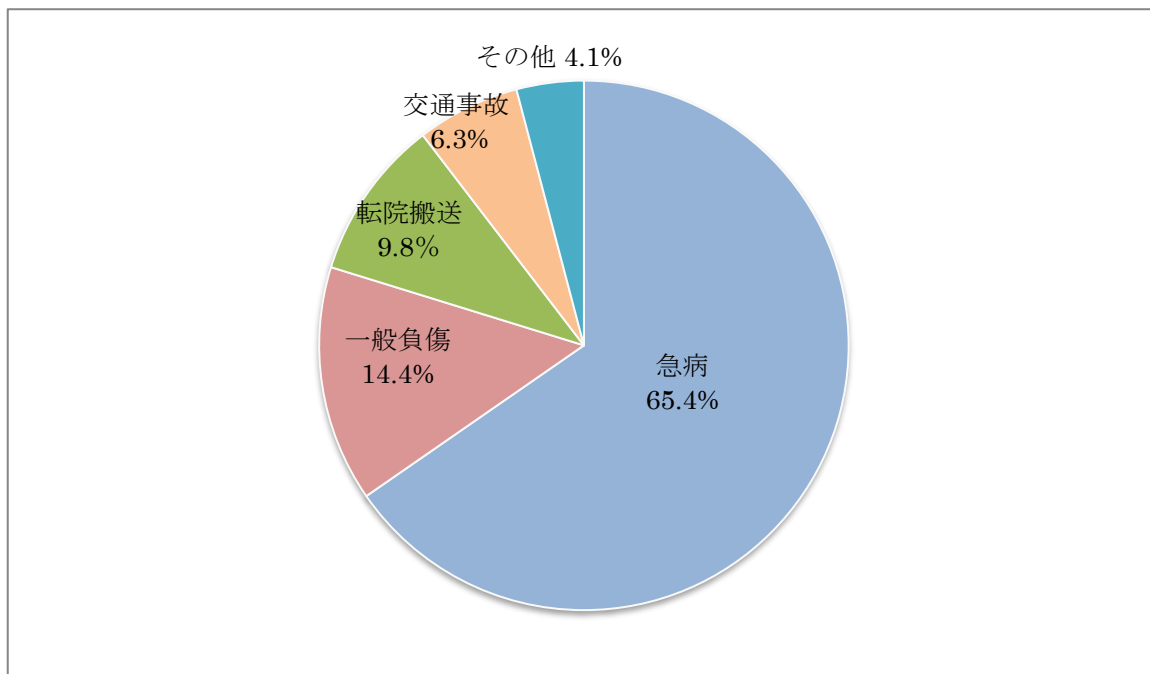
令和6年の救急出動件数は4,827件（前年比67件減）、搬送人員は4,200人（前年比55人減）となっています。これは、1日平均13.2件出動し、市民21人に1人を救急車で医療機関へ搬送したことになります。

区 分			出動件数	搬送人員
事 故 種 別	火 災		11	1
	自 然 災 害			
	水 難 事 故		6	2
	交 通 事 故		305	261
	労 働 災 害		42	40
	運 動 競 技		41	40
	一 般 負 傷		694	616
	加 害		17	14
	自 損 行 為		41	25
	急 病		3, 156	2, 730
	そ の 他	転 院 搬 送	474	471
		医 師 搬 送		
		資器材等輸送		
そ の 他		40		
合 計			4, 827	4, 200

区 分		搬送人員
傷 病 程 度	死 亡	52
	重 症	244
	中 等 症	2,186
	軽 症	1,718
	そ の 他	
合 計		4,200

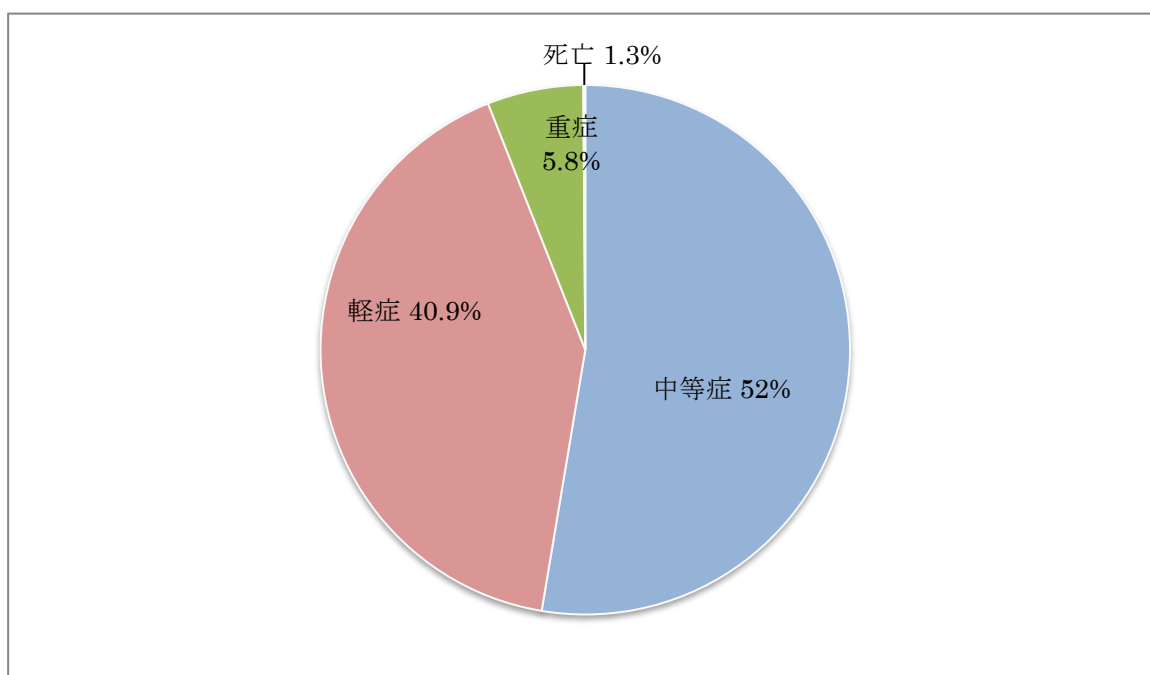
(1) 事故種別

事故種別では、急病が 3,156 件（前年比 61 件減）で全体の 65.4%を占め、次いで一般負傷が 694 件（前年比 54 件減）、転院搬送が 474 件（前年比 42 件増）となっています。



(2) 傷病程度別搬送人員

傷病程度別搬送人員は、中等症が 2,186 人（前年比 173 人増）で全体の 52%を占め、次いで軽症が 1,718 人（前年比 197 人減）、重症が 244 人（前年比 8 人減）、死亡が 52 人（前年比 23 人減）となっています。



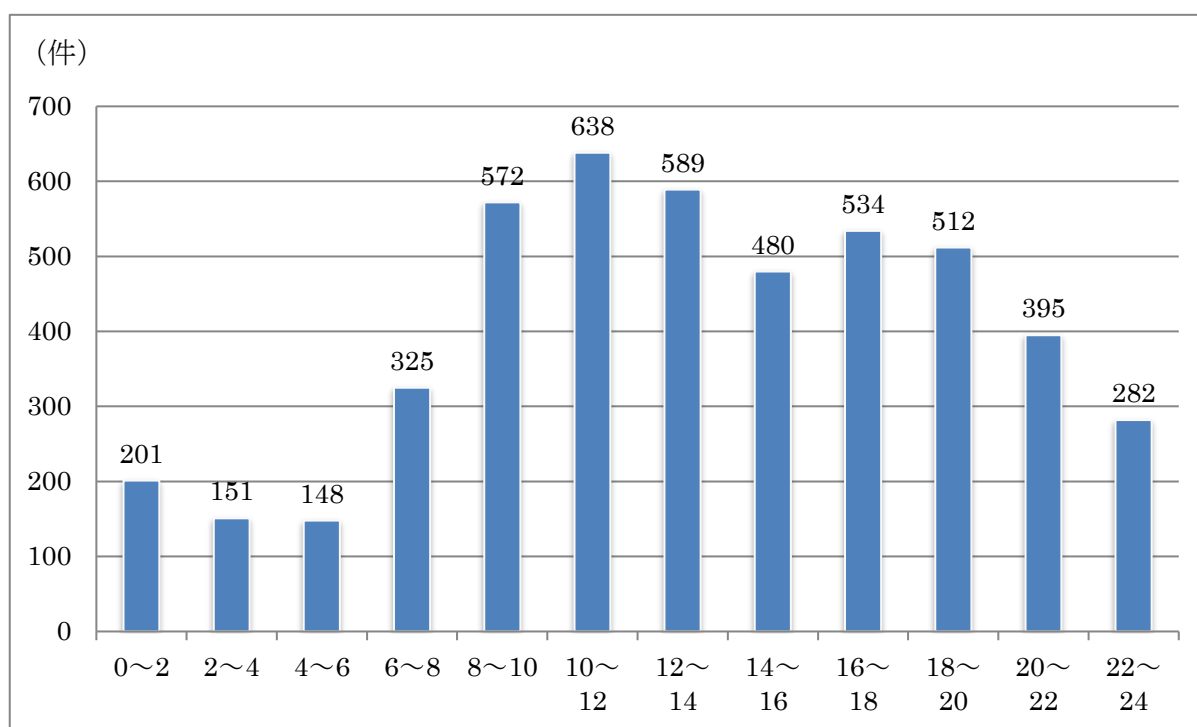
2 救急出動状況(前年との比較)

年 別 区 分		令和 5 年	令和 6 年	増 減 (△は減少)	
出 動 件 数		4, 894	4, 827	△ 67	
事 故 種 別	火 災		10	11	1
	自 然 災 害		1		△ 1
	水 難 事 故		5	6	1
	交 通 事 故		293	305	12
	労 働 災 害		35	42	7
	運 動 競 技		34	41	7
	一 般 負 傷		748	694	△ 54
	加 害		15	17	2
	自 損 行 為		39	41	2
	急 病		3, 217	3, 156	△ 61
	そ の 他	転 院 搬 送	432	474	42
		医 師 搬 送			
		資 器 材 等 輸 送			
そ の 他		65	40	△ 25	
搬 送	不 搬 送		652	646	△ 6
	搬 送 人 員		4, 255	4, 200	△ 55
傷 病 程 度	死 亡		75	52	△ 23
	重 症		252	244	△ 8
	中 等 症		2, 013	2, 186	173
	軽 症		1, 915	1, 718	△ 197
	そ の 他				

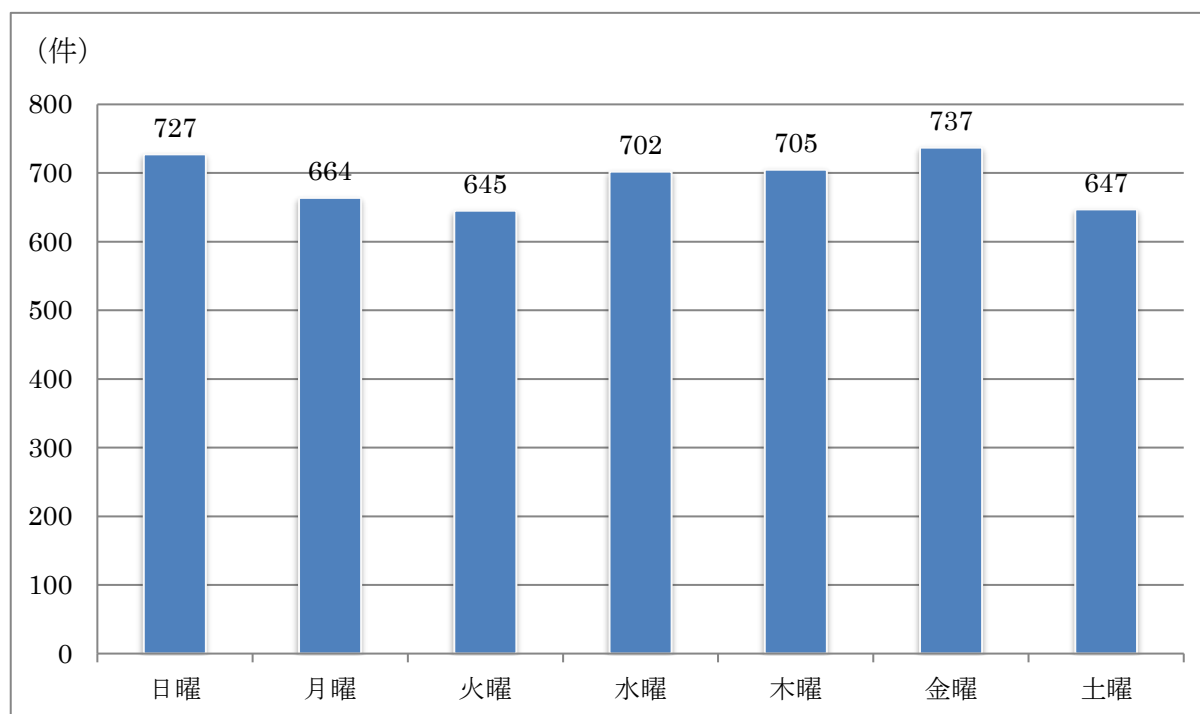
3 月別出動件数

区 分 \ 月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
		出 動 件 数	446	350	364	337	367	403	479	462	414	324	379	502	4,827
事 故 種 別	火 災		3	1	1	1		1	3				1	11	
	自 然 災 害														
	水 難 事 故					1	2				1	2		6	
	交 通 事 故	25	19	28	21	24	28	29	20	35	17	28	31	305	
	労 働 災 害	1	1	4	2	5	3	2	5	6	5	3	5	42	
	運 動 競 技	1	1	2	5	2	4	5	7	4	3	5	2	41	
	一 般 負 傷	58	53	69	56	59	57	55	47	55	55	55	75	694	
	加 害		1	3	6	2	1	1	1	1	1			17	
	自 損 行 為	3	3	2	8	5	2	2	3	3	2	6	2	41	
	急 病	310	227	227	195	226	262	336	327	266	207	237	336	3,156	
	そ の 他	転院搬送	45	40	26	39	40	38	43	45	40	33	39	46	474
		医師搬送													
		資器材等輸送													
		そ の 他	3	2	2	4	2	6	5	4	4		4	4	40
搬 送	不 搬 送	63	49	43	46	48	56	84	64	50	34	54	55	646	
	搬 送 人 員	387	301	324	292	319	349	397	399	366	291	325	450	4,200	
傷 病 程 度	死 亡	6	5	6	7	3	2	3	6	5	1	3	5	52	
	重 症	21	18	21	17	20	19	31	21	16	20	19	21	244	
	中 等 症	207	151	161	153	153	176	212	184	209	159	177	244	2,186	
	軽 症	153	127	136	115	143	152	151	188	136	111	126	180	1,718	
	そ の 他														

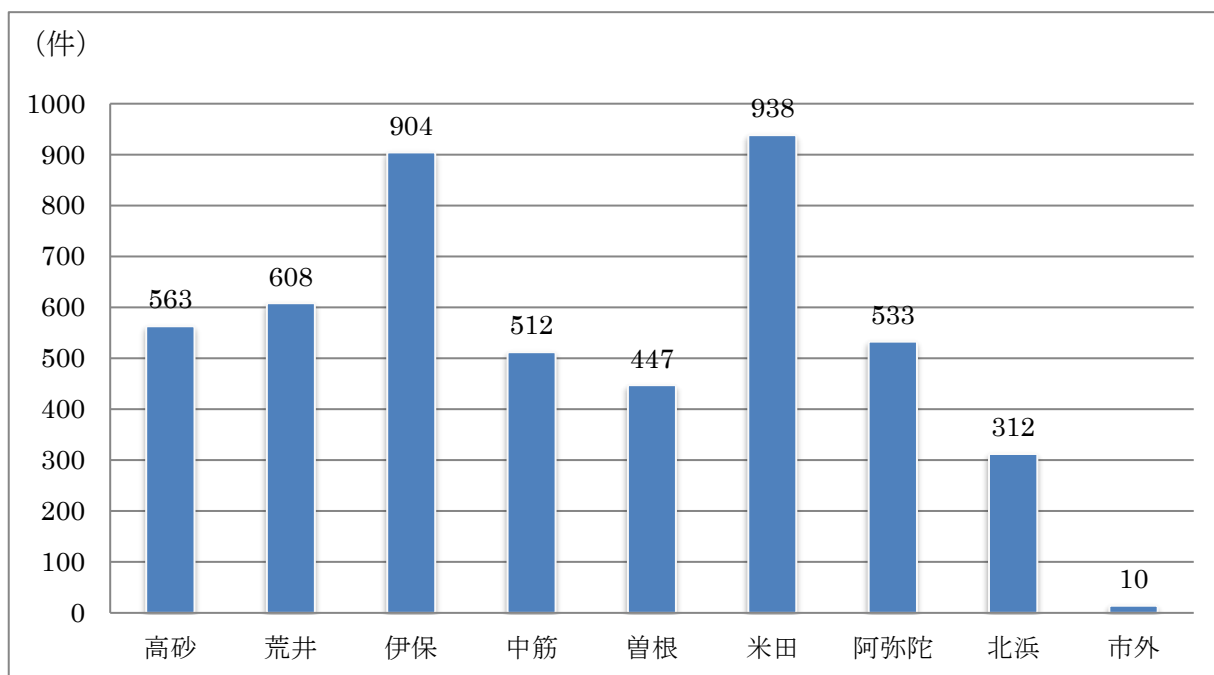
4 時間別出動件数



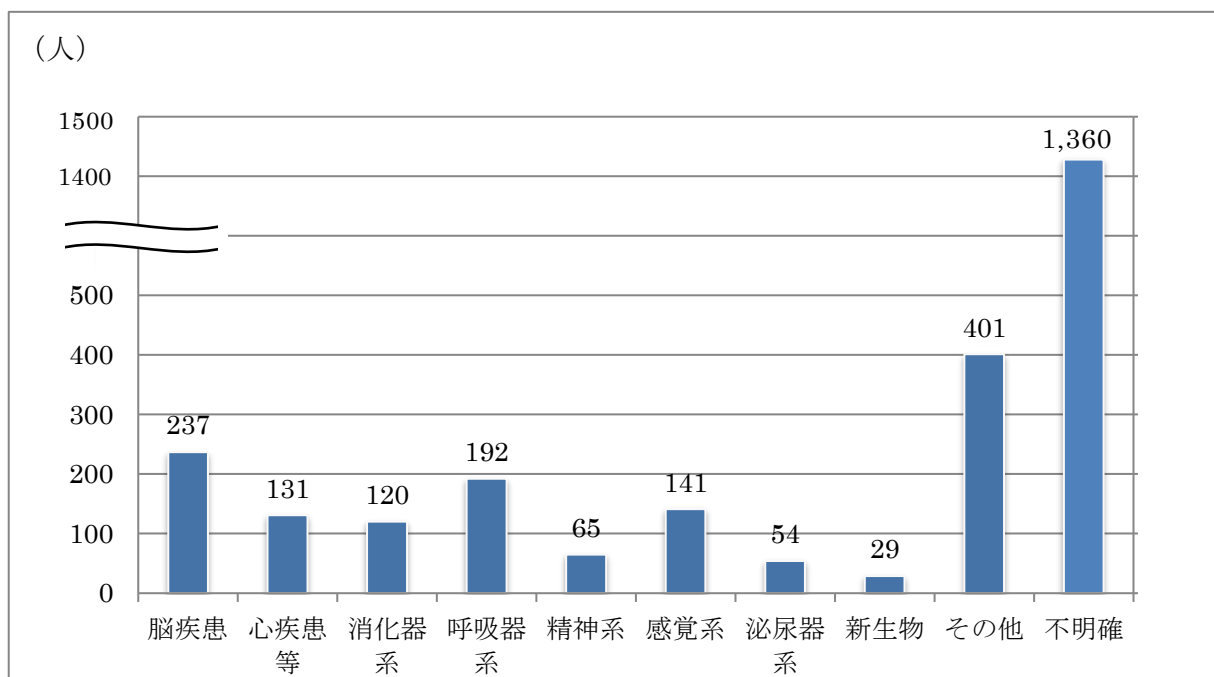
5 曜日別出動件数



6 地区別出動件数



7 急病にかかる疾病分類別搬送人員状況



8 現場到着所要時間別出動件数

通報から現場到着までに要する時間は、平均 7 分 04 秒となっています。5 分以上 10 分未満が 3,643 件と最も多く、全体の 75.5%を占めています。

時 間 区 分	3 分未満	3 分以上 5 分未満	5 分以上 10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上	合 計	現場到着 平均所要時間
急 病	23	378	2,456	299	0	3,156	7 分 07 秒
交通事故	4	45	210	40	6	305	7 分 34 秒
一般負傷	5	96	531	62	0	694	7 分 06 秒
上記以外	16	159	446	50	1	672	6 分 29 秒
合 計	48	678	3,643	451	7	4,827	7 分 04 秒

9 病院収容所要時間別搬送人員状況

通報から病院収容までに要する時間は、平均 36 分 01 秒となっています。30 分以上 60 分未満が 2,582 人と最も多く、全体の 61.5%を占めています。

時 間 区 分	20 分未満	20 分以上 30 分未満	30 分以上 60 分未満	60 分以上 120 分未満	120 分以上	合 計	病院収容 平均所要 時間
急 病	60	777	1,752	139	2	2,730	36 分 29 秒
交通事故	18	79	147	17	0	261	36 分 18 秒
一般負傷	17	161	404	33	1	616	36 分 58 秒
上記以外	16	275	279	20	3	593	32 分 41 秒
合 計	111	1,292	2,582	209	6	4,200	36 分 01 秒

10 年齢区分別傷病程度別搬送人員状況

年齢区分別の搬送人員は、高齢者が2,751人と最も多く全体の65.5%を占めています。

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡		1	1	5	45	52
重症		1	2	46	195	244
中等症	1	59	62	421	1,643	2,186
軽症	1	147	125	577	868	1,718
合計	2	208	190	1,049	2,751	4,200

新生児 生後28日未満の者

乳幼児 生後28日以上7歳未満の者

少年 7歳以上18歳未満の者

成人 18歳以上65歳未満の者

高齢者 65歳以上の者

傷病程度は、初診における医師の診断に基づき次のように分類している。

死亡 初診時において死亡が確認されたものをいう。

重症 傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。

中等症 傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。

軽症 傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。

11 発生場所別搬送人員状況

発生場所別の搬送人員は、住宅が2,617人と最も多く全体の62.3%を占めています。

発生場所 区分	住宅	公衆	仕事場	道路	その他	合計
急病	2,173	421	41	81	14	2,730
交通事故	4	10	2	242	3	261
一般負傷	407	105	4	86	14	616
上記以外	33	515	36	2	7	593
合計	2,617	1,051	83	411	38	4,200

12 応急処置実施件数

区 分 \ 事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	左記以外	合 計
止 血	6	9	43	5	63
固 定	3	56	32	13	104
人 工 呼 吸	6			2	8
心 肺 蘇 生	73	1	3	6	83
酸 素 吸 入	519	20	22	126	687
気 道 確 保	108	1	4	7	120
うち経鼻エアウェイ ※1	4			1	5
うち喉頭鏡、鉗子等 ※2	2		2		4
うちリソグアルマスク等 ※3	47			2	49
うち気管挿管 ※4			2		2
保 温	16	10	5	4	35
被 覆	14	38	116	22	190
在 宅 療 法 継 続	22		2		24
除 細 動	5				5
静脈路確保（輸液）※5	34		1	2	37
薬 剤 投 与	11				11
血 糖 測 定	9				9
エ ピ ペ ン 投 与					
ブ ド ウ 糖 投 与	9				9
血 圧 測 定	2,548	252	581	580	3,961
聴診器による心音等の聴取	1,197	77	136	167	1,577
血中酸素飽和度の測定	2,659	257	608	584	4,108
心 電 図	1,391	50	90	219	1,750
そ の 他 の 応 急 処 置	2,655	255	605	581	4,096
合 計	11,285	1,026	2,248	2,318	16,877

※1 経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載

※2 喉頭鏡、鉗子等により異物除去を行った件数を内数として記載

※3 救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載

※4 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数を内数として記載

※5 心肺機能停止時、心肺機能停止前及びブドウ糖投与のための静脈路確保の総件数

【救助】

1 救助の概要

令和6年の救助出動件数は84件（前年比25件減）、活動件数は35件（前年比15件減）となっています。

事故種別では、その他の事故が34件（前年比13件減）で全体の約40.5%を占めています。

救助人員は41人（前年比10人減）で、建物事故11人、交通事故11人、その他の事故9人、ガス・酸欠事故5人、水難事故3人、火災1人、機械事故1人となっています。

区 分		出動件数	活動件数	救助人員
救 助 事 故 種 別	火 災	1	1	1
	交 通 事 故	24	9	11
	水 難 事 故	7	4	3
	自 然 災 害			
	機 械 事 故	2	1	1
	建 物 事 故	12	11	11
	ガス・酸欠事故	4	3	5
	破 裂 事 故			
	その他の事故	34	6	9
合 計		84	35	41

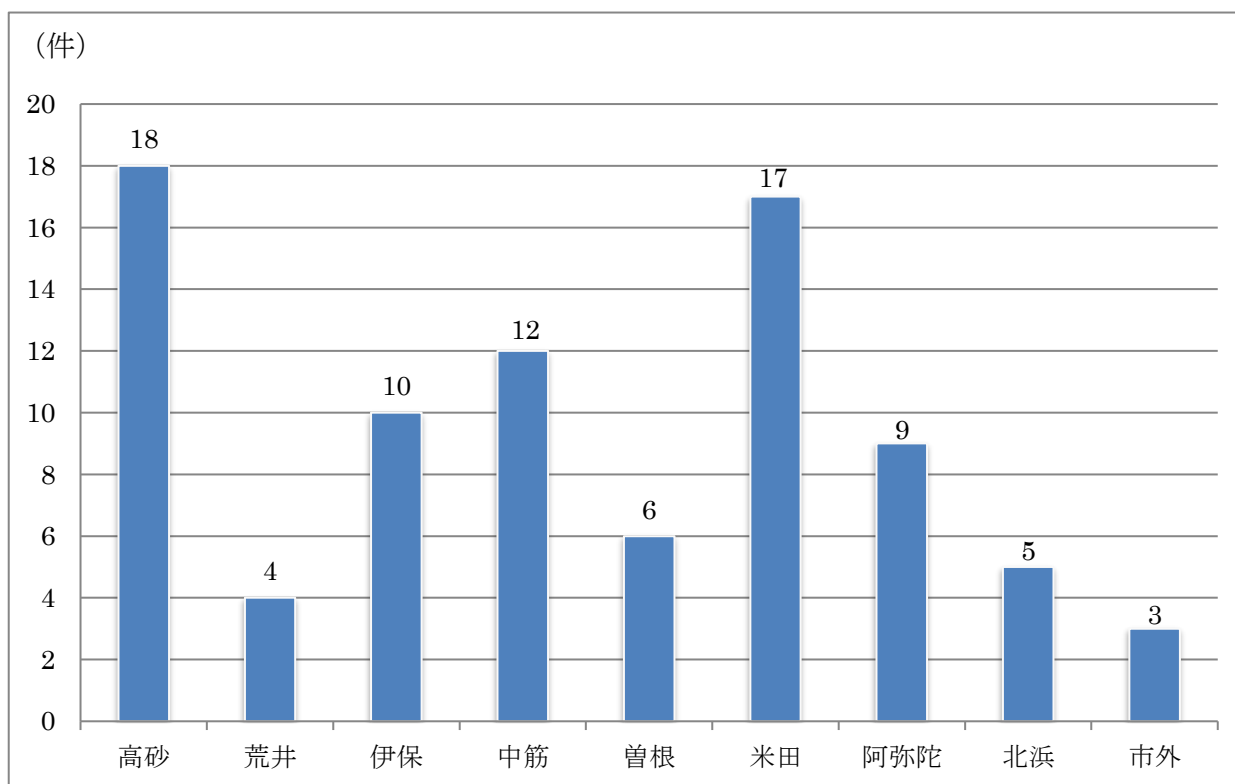
2 救助出動状況(前年との比較)

年 別 区 分		令和 5 年	令和 6 年	増 減 (△は減少)
出 動 件 数		109	84	△25
活 動 件 数		50	35	△15
救 助 人 員		51	41	△10
救 助 事 故 種 別	火 災		1	1
	交 通 事 故	20	24	4
	水 難 事 故	4	7	3
	自 然 災 害			
	機 械 事 故		2	2
	建 物 事 故	33	12	△21
	ガス・酸欠事故	5	4	△1
	破 裂 事 故			
傷 病 程 度	その他の事故	47	34	△13
	死 亡	19	8	△11
	重 症	5	4	△1
	中 等 症	14	17	3
	軽 症	8	4	△4
	そ の 他	5	8	3

3 月別出動件数

月 別 区 分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
救 助 事 故 種 別	火 災		1											1
	交 通 事 故	2	4	1	2	4	2	5	1		2	1		24
	水 難 事 故					1	2	1			1	2		7
	自 然 災 害													
	機 械 事 故					1		1						2
	建 物 事 故	2	2		1			1		1	1	3	1	12
	ガス・酸欠事故			1	2					1				4
	破 裂 事 故													
	その他の事故	4	1	1	1	3	4	3	3	5	1	3	5	34
合 計		8	8	3	6	9	8	11	4	7	5	9	6	84

4 地区別出動件数



5 救助種別及び傷病程度別出動件数

種 別 区 分		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出 動 件 数		1	24	7		2	12	4		34	84
活 動 件 数		1	9	4		1	11	3		6	35
救 助 人 員		1	11	3		1	11	5		9	41
傷 病 程 度	死 亡	1	1	2			2	2			8
	重 症		2				1			1	4
	中 等 症		8	1			6			2	17
	軽 症						2			2	4
	そ の 他					1		3		4	8

6 救助種別及び発生場所別出動件数

種 別 区 分		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出 動 件 数		1	24	7		2	12	4		34	84
屋 内	住 居	1					12	1		25	39
	その他の屋内					2		1			3
屋 外	道 路		21							1	22
	水 面		1	1							2
				5						1	6
	山 岳									5	5
	地 下										
	その他の屋外		2	1				2		2	7
地 下											
そ の 他											